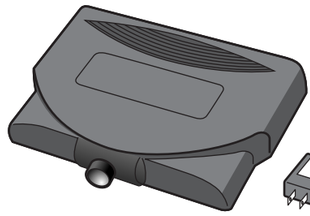
ブロードバンドテレビ電話
TELEBB-1000

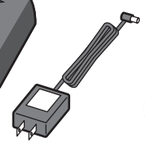
かんたん設置ガイド

※本製品の基本的な設置・設定方法について説明しています。詳しい機能や操作方法につきましては、取扱説明書をご覧ください。

1 箱の中身を確認しましょう

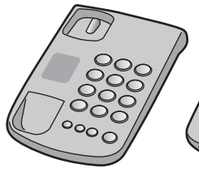
はじめに、箱の中身を確認しましょう。
本製品の箱には以下のものが入っています。不足がある場合には、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。


テレビ電話 TELEBB-1000本体

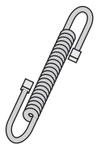

ACアダプター

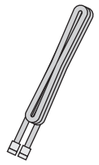
リモコン

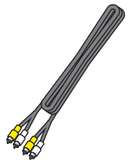
単4電池×2

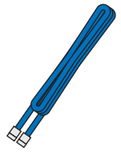

電話機本体

受話器

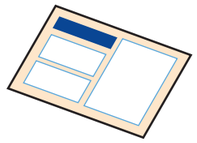

カールコード


モジュラーコード


テレビ接続ケーブル
(RCAオーディオ/ビデオケーブル)


ネットワーク接続ケーブル
(LANケーブル)

取扱説明書 2部
(テレビ電話、電話機)


かんたん設置ガイド(本書)

保証書

電話帳
登録はがき

2 接続しましょう

1 本体を設置します

テレビ電話本体を、レンズのある側を前にして、安定した場所に置きます。

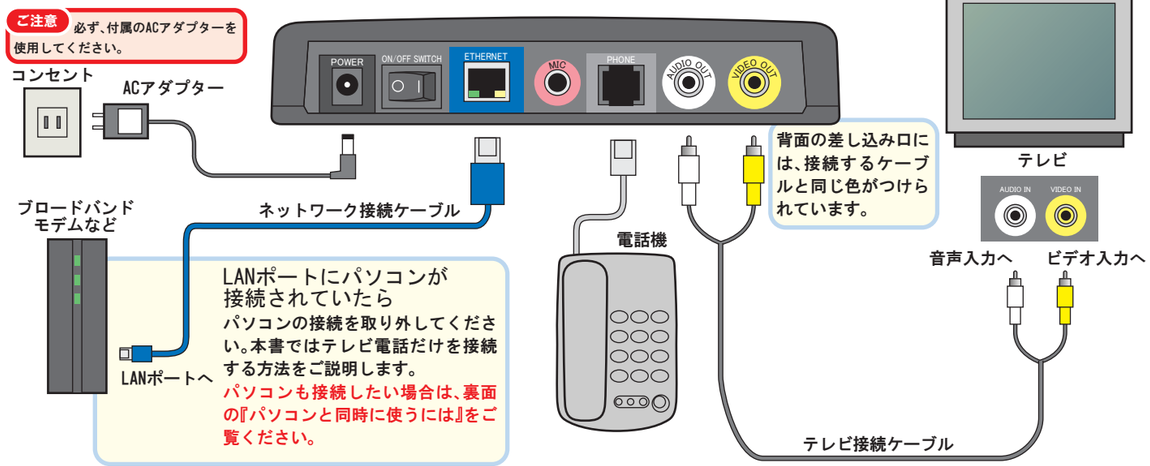
出荷時には、レンズにカバーが取り付けられています。忘れずにカバーを取り外してください。

2 接続します

テレビ電話本体背面に、下図のように付属のケーブル類を接続します。

テレビの入力を切り替えます
テレビ電話を接続した端子に、テレビの入力を切り替えてください。
切り替えの操作方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意 必ず、付属のACアダプターを使用してください。



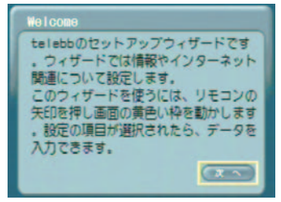
背面の差し込み口には、接続するケーブルと同じ色がつけられています。

LANポートにパソコンが接続されていたら
パソコンの接続を取り外してください。本書ではテレビ電話だけを接続する方法をご説明します。
パソコンも接続したい場合は、裏面の『パソコンと同時に使うには』をご覧ください。

3 テレビ電話を設定しましょう

1 電源を入れます

・テレビ電話本体の背面にある電源スイッチを入れます。
・しばらく待ち、「Welcome」画面が表示されたら、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。



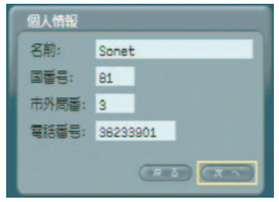
リモコンの使い方

リモコンを使うときは、必ず先端をテレビ電話本体に向けてください。
[▲][▼][◀][▶]ボタン:画面上の設定項目などを選ぶことができます。
選ばれている項目には、黄色い枠が付きます。
[ENTER]ボタン:選んだ項目を「決定」や「実行」するときに押します。
[CANCEL]ボタン:選んだ項目を「取り消し」や「中止」するときに押します。

2 自分の名前や番号を入力します

ご注意 本製品を使うためには、弊社の電話帳サービスにご登録いただく必要があります。
付属の「電話帳サービス登録はがき」に必要事項を記入して、ポストに投函してください。

・キーボード画面を使って、それぞれの項目に情報を入力します。
名前:自分の名前を入力します。
国番号:日本は「81」です。
市外局番:先頭の0を省いて入力します。(東京03なら「3」、IP電話050なら「50」)
電話番号:数字だけを一続きに入力します。(「36233901」など)



キーボード画面の使い方
文字や数字を入力する枠を選び[ENTER]ボタンを押すと、キーボード画面が表示されます。

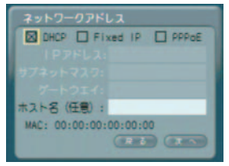
文字や数字を入力する枠を選び[ENTER]ボタンを押すと、画面キーボードが表示されます。
[▲][▼][◀][▶]ボタンで黄色い枠を動かし、[ENTER]ボタンを押してその文字を入力します。

⇩:アルファベットを小文字に
⇧:アルファベットを大文字に
🔒:大・小文字自動切り替え(単語の先頭のみ大文字)
SPACE:空白
←:一文字消去
CLR:全文字を消去
OK:入力を終了(キーボード画面を閉じる)

3 ネットワークの設定を入力します (パソコンを使わない設定)

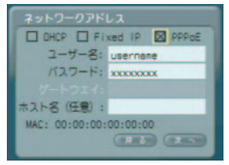
この項目は、接続業者によって設定方法が異なります。ここでは代表的な3種類の方法を説明します。お使いの接続方法が分からない場合は、接続業者にお問い合わせください。

●Yahoo!など(DHCPクライアント)の場合
・[◀][▶]ボタンで「DHCP」を選んで[ENTER]ボタンを押し、×印が付いた状態にします。
・「次へ」を選んで[ENTER]ボタンを押します。



●フレッツ・ADSLなど(PPPoE)の場合
・[◀][▶]ボタンで「PPPoE」を選んで[ENTER]ボタンを押し、×印が付いた状態にします。
・「ユーザー名」および「パスワード」に情報を入力します。

ユーザー名とパスワードは、接続業者から提供された書類に記載されています。

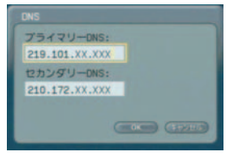


・「次へ」を選んで[ENTER]ボタンを押します。

●JANISネットワークなど(固定グローバルIP)の場合
・[◀][▶]ボタンで「Fixed IP」を選んで[ENTER]ボタンを押し、×印が付いた状態にします。
・「IPアドレス」および「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」に情報を入力します。

「IPアドレス」と「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は、接続業者から提供された書類に記載されています。

・「次へ」を選んで[ENTER]ボタンを押します。



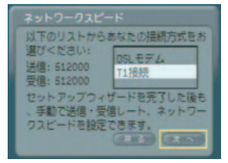
次にDNSアドレスを設定します。
・「プライマリーDNS」および「セカンダリーDNS」(省略可)に情報を入力します。
・「OK」を選んで[ENTER]ボタンを押します。

「プライマリーDNS」と「セカンダリーDNS」は、接続業者から提供された書類に記載されています。

4 ネットワークの速度を入力します

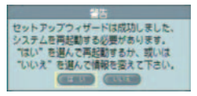
・[▲][▼]ボタンでリストの「T1接続」を選び、[ENTER]ボタンを押します。
・「次へ」を選んで[ENTER]ボタンを押します。

実際の接続方式に関係なく、「T1接続」を選んでください。設定は後で変更できます。



5 テレビ電話を再起動します

・画面に「警告」が表示されます。「はい」を選んで[ENTER]ボタンを押します。



テレビ電話が再起動した後、メイン画面が表示されます。

設定は以上で完了です。これでテレビ電話が使えるようになりました。

4 テレビ電話を使ってみましょう

ご注意 このテレビ電話は、同じ方式のテレビ電話を設置した相手に限り通話することができます。一般の電話や携帯電話とはつながりません。

●テレビ電話をかける（電話機を使う場合）

1 電話機の受話器を上げ、電話番号を押します

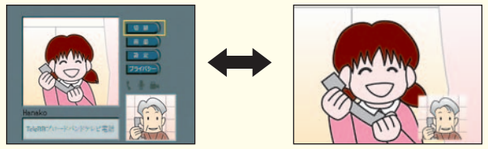
・国番号（日本は81）、市外局番（先頭の0は省略）も含めて押します。
例：東京03-3623-3901の場合、81336233901

・相手側のテレビ電話が呼び出されます。

2 つながったら、通話をします

・相手側が電話を取ると、相手側のカメラに写っている映像が画面に表示されます。

画面の切り替え　リモコンの[ ]ボタンを押すごとに、画面の表示方法が切り替わります。



3 受話器を置きます

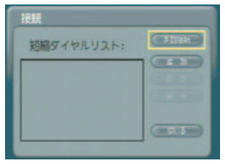
・通話が終わったら、受話器を置きます。

●テレビ電話をかける（リモコンを使う場合）

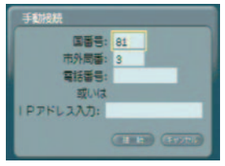
1 リモコンで相手の番号を入力します

①リモコンの「▲」「▼」ボタンでメイン画面の「接続」を選び、[ENTER]ボタンを押します。

②次に、「手動接続」を選び、[ENTER]ボタンを押します。



③手動接続画面で、「国番号」（日本は81）「市外局番」（先頭の0は省略）「電話番号」を入力して「接続」を選び、[ENTER]ボタンを押すと、相手が呼び出されます。



IPアドレスでかける

相手側が電話番号を使えない場合は、「IPアドレス入力」に相手のテレビ電話のグローバルIPアドレス（219.101.XXX.XXXなど）を入力します。IPアドレスの「.」（ピリオド）は、[＊]ボタンで入力します。入力するアドレスは、あらかじめ相手に教えてもらう必要があります。

2 つながったら、通話をします

・受話器を上げない場合は、テレビ電話本体に内蔵されたマイクとテレビのスピーカーで通話ができます。（スピーカーホン機能）
・受話器を上げると、受話器での通話になります。

3 通話を終了します

・リモコンの「▲」「▼」ボタンでメイン画面の「切断」を選び、[ENTER]ボタンを押します。
・受話器を上げて通話している場合には、受話器を置きます。

●テレビ電話をうける

1 呼び出し音が鳴ります

・相手からテレビ電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。

2 通話をします

・受話器を上げると、テレビ電話がつながり、画面に相手の映像が表示されます。
・リモコンで画面の「承諾」を選び、[ENTER]ボタンを押してもつながります。（スピーカーホンになります）

プライバシー機能

相手に自分の映像を送りたくない場合には、リモコンの[VIDEO]ボタンを、音声を送りたくない場合には[AUDIO]ボタンを押します。同じボタンをもう一度押すと、制限を解除します。

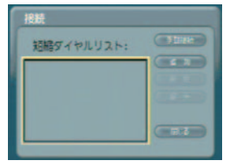
3 受話器を置きます

通話が終わったら、受話器を置くか、リモコンで画面の「切断」を選び、[ENTER]ボタンを押します。

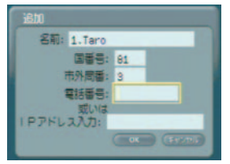
5 よくかける番号を登録しましょう

1 短縮ダイヤルを登録します

・リモコンの[▲][▼]ボタンでメイン画面の「接続」を選び、[ENTER]ボタンを押します。
・「追加」を選び、[ENTER]ボタンを押します。



・キーボード画面を使って、それぞれの項目に情報を入力します。
名前：名前を入力します。この名前は短縮ダイヤルリストに表示されます。

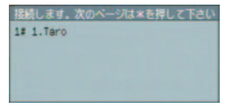


短縮ダイヤルリストの並び順は名前の文字で決まります。先頭に「1.」などの数字を入れることで、順序を指定することができます。

国番号：日本は「81」です。
市外局番：先頭の0を省いて入力します。（東京03なら「3」、IP電話050なら「50」）
電話番号：数字だけを一続きに入力します。（「36233901」など）
・「OK」を選び、[ENTER]ボタンを押すと、短縮ダイヤルに登録されます。

2 短縮ダイヤルで電話をかけます

●受話器を使ってかける
受話器を取った後、「＊」を押して短縮ダイヤルリストを表示し、かけたい相手の短縮ダイヤル番号（「１」など）を押して、「#」ボタンを押します。



●リモコンでかける
・リモコンの「▲」「▼」ボタンでメイン画面の「接続」を選び、[ENTER]ボタンを押します。
・「▲」「▼」ボタンで短縮ダイヤルリストから相手を選び、[ENTER]ボタンを押します。

パソコンと同時に使うには（ルータの設定が必要）

テレビ電話とパソコンのインターネット接続を同時に使う場合は、「ブロードバンドルータ」を設置する必要があります。
ブロードバンドルータを新たに購入される場合は、ご使用の接続サービスに対応した製品の中から、「DMZポート」を搭載している機種、または「静的IPマスカレード」「バーチャルサーバ」「GapNAT」などの機能を使用できる機種を選んでください。

ご注意 **・以下の作業を行うには、パソコンやネットワークに関する知識が必要になります。また、お使いの環境によって必要な設定が異なりますので、あらかじめ、接続業者のサポートセンターや、パソコン販売店の方にご相談されることをお勧めします。**
・ルータやパソコンの設定方法は機種ごとに異なります。詳しくはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 ブロードバンドルータを接続します

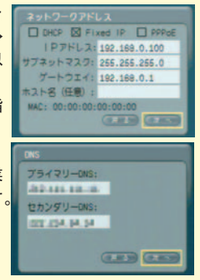
・ブロードバンドルータのWANポートをADSLモデムなどに接続し、パソコンをLANポートに接続します。
・ブロードバンドルータにテレビ電話を接続します。DMZポートがある場合にはそのポートに、ない場合にはLANポートのいずれかに接続します。

2 ブロードバンドルータの設定を行います

①パソコンでWebブラウザを起動し、ルータのIPアドレスにアクセスします。（192.168.1.1など、機種により異なります）
②IDとパスワードを入力し、設定画面にログインします。
③WAN側（インターネット側）の設定を行います。
Yahoo!など（DHCP）の場合：DHCPによるIPアドレスの自動取得を行う設定にします。
フレッツADSLなど（PPPoE）の場合：PPPoEによる接続を行う設定にしてID/パスワードを入力します。
固定グローバルIPアドレスを使用する場合：使用するIPアドレスを設定します。
④LAN側の接続設定を行います。
・DHCPの設定項目で、IPアドレスの割り当て範囲を確認します。
●仮想DMZ機能を使用する場合
DMZホストのIPアドレスを、DHCPの割り当て範囲外に設定します。・（このIPアドレスを、テレビ電話で使用します）
●静的IPマスカレードなどを使用する場合
テレビ電話に割り当てるIPアドレスを、DHCPの割り当て範囲外に設定し、そのIPアドレスにポート番号1720（TCP）と15328-15333（TCP/UDP）の通信を可能にするよう設定します。

3 テレビ電話の設定を変更します

●仮想DMZ、IPマスカレードなどを使用する場合
メイン画面の「設定」から、「ネットワーク」→「アドレス」と進み、「Fixed　IP」を選択し、以下の項目を設定します。
IPアドレス、サブネットマスク：手順２で指定したアドレスとサブネットマスク
ゲートウェイ：ルータのLAN側IPアドレス
プライマリーDNS/セカンダリーDNS：接続業者の提供するDNSのIPアドレスを入力します。



4 正常に動作することを確認します

テレビ電話のメイン画面で、状態アイコン（取扱説明書13ページ参照）がすべて消灯していることを確認します。

エラー時の状態アイコン

・有料にて設置を受け賜わりますので販売店にご相談ください。
・Yahoo!、フレッツ・ADSL、JANISネットワークは、それぞれ各社の登録商標です。

製造・販売元
Sonet Software & Networking
〒130−0002
東京都墨田区業平３丁目８番６号
ソネット株式会社
http://www.sonet.co.jp
又は http://www.telebb.com